

1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 （政策）	番号	8	名称	持続可能な環境をつくるまち			
施策	番号	3	名称	斎場・墓園の維持管理			
主担当部	環境づくり部		主担当課	環境衛生課		部長名	森島 勇人
関係部	まちづくり部		関係課	緑地景観課			

2. 施策の基本方針（第3次総合計画の基本方針をもとに記入する）

この施策の目的	市民の生活に密接した施設である市営斎場を、スムーズかつ円滑に運営を行うと同時に、市営香久山墓園を整備し、適正な管理をすることにより市民サービスに寄与する。
---------	---

3. 施策の現状分析（第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する）

この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について
	市営斎場の火葬設備等の定期的な保守点検により安定した火葬業務を持続でき、設備の適切な維持管理に努めることにより市民の要望に応える。市営墓園への墓参者に気持ちよく安心して迷惑をかけないよう維持管理を行い、墓地利用者への使用上の各届出・手続きを迅速に行うことにより市民ニーズに応える。また、返還墓地の販売及び墓地計画の見直しに着手する。	市営斎場の葬祭場の使用件数が、充実された民間葬祭場の利用の増加により減少している。墓地に関しては、少子高齢化・核家族化が進む中で、従来の家制度にこだわらず、承継者が不要で安心して多くの人々が一緒に眠ることができる合葬式墓地を建設し管理運営を行っている。
これまでの成果	合葬墓地については、順調に申し込みが増加している。 火葬炉については、26年度から3年計画により大規模改修にとりかかり、安定した運転をしている。	

4. 指標及びコストの推移

	名称及び単位等	28年度	29年度		30年度	備考欄	
		実績	目標	実績	目標		
指標の推移	施策指標① （成果指標）	葬祭場利用件数（件）	73	100	93	100	
	施策指標② （成果指標）	合葬式墓地 地下合葬室 利用率	11.1	9.38	132	148	
	施策指標③ （成果指標）	合葬式墓地 個別安置利 用率	11.85	13.45	13.05	14.05	
	施策指標④ （成果指標）						
	施策指標⑤ （成果指標）						
コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出 （直接事業費）(a)		165,606	184,715	118,565	178,984	
	歳入 (b)	受益者負担額	122,261	79,500	105,533	119,067	
		受益者負担額以外 の歳入（補助金等）	0	26,884	0	0	
	(a) - (b) = 一般財源		43,345	78,331	13,032	59,917	
	正職員	従事者数 （単位：人）	2.10	1.85	2.10	2.20	
		人件費(c)	11,985	10,558	12,207	12,789	
トータルコスト (a) + (c)		177,591	195,273	130,772	191,773		

5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の成果の達成度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性はどうか	1	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	市営斎場の使用件数にあまり変化はない。墓園については、市民より要望があった合葬式墓地の利用者募集を、平成24年度から行っている、当初は申込件数が予想より多かったが、最近計画どおりの件数である。今後も核家族化に伴い、引き続き申し込みがあると予測している。				
	市政全般に対する貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	斎場及び墓園は市民生活に欠くことのできない重要施設である。又、斎場に於いては市内唯一の施設でもあることから適正な維持管理運営を行っていくことは、非常に重要かつ不可欠であり貢献度は高い。				

6. 施策の課題

この施策の課題	市営斎場が完成してから30年近く経過しており、火葬炉について平成26年度から大規模修理に3ヶ年計画でとりかかった。今後、高齢化から多死時代をむかえる中で、火葬炉の運転が多くなることから、火葬炉の増設が必要となる見込みである。
---------	--

7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	2	1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	市営斎場の老朽化が進んでおり、今後市民ニーズに合った施設の改修計画を検討する。返還墓地の計画的な販売、及び合葬式墓地の利用者募集を継続する。			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）

1次評価	説明	市営斎場管理運営事業は、各施設の設備延命化のため改修を強化していく。墓園施設管理事業は、合葬式墓地の申込を継続して行う。一般墓地の維持管理費徴収を継続して行う。墓地造成販売事業は、新規の計画の見直し及び返還墓地の計画的な販売を行い、市民のニーズに応える。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度—事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性—事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)—施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。
(優先度が高い順に A、B、C、D)

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価			戦 略	大 綱
No.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H29決算額	貢 献 度	方 向 性	優 先 度 (ソフト任意)		
1	環境衛生課	斎場は1月1日、2日を除き、午前9時から午後5時まで事務所で予約受付をしている。利用者がスムーズに火葬・葬儀・収骨等を行えるよう、火葬炉等の点検・補修、葬祭場・家族葬祭場・待合室等の管理運営を行う。	2 現状のまま継続	a	見直しながらかつ続ける			
	市営斎場管理運営事業 (内部管理・維持管理)		79,600 (千円)					
2	緑地景観課	墓参に支障のないように通路・水路の浚渫・草刈等を行う。未建立墓地の管理状況を調査し、草刈等の未実施使用者に通知を行い維持管理の促進をする。また、墓園内の衛生害虫駆除、維持管理のための管理料の徴収、一般墳墓利用者の使用上の届出・諸手続き等を行う。平成24年度からは合葬式墓地の管理運営も行っている。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	B		
	墓園施設管理事業 (ソフト(任意))		15,425 (千円)					
3	緑地景観課	返還墓地の整備・新規墓地の建設	1 継続する	a	見直しながらかつ続ける			
	墓園造成事業 (ハード)		23,540 (千円)					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月4日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ 内部管理・維持管理 ）		事業					
P L A N 計 画	事務事業名	市営斎場管理運営事業							
	担当部名	環境づくり部	担当課名	環境衛生課	課長名	井上 吉成			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	8	持続可能な環境をつくるまち					
		施策	3	斎場・墓園の維持管理					
	総合戦略の位置付け	基本目標							
		基本的方向							
	行革大綱の位置付け	重点項目							
		項目							
		改革名							
	予算事業名	斎場管理運営費							
事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成	年度			
対象	市営斎場利用者								
事業の目的	斎場等の適切な維持管理に努め、火葬及び葬儀による斎場利用等にかかわる業務を円滑に遂行する。			事業の内容説明	斎場は1月1日、2日を除き、午前9時から午後5時まで事務所で予約受付をしている。利用者がスムーズに火葬・葬儀・収骨等を行えるよう、火葬炉等の点検・補修、葬祭場・家族葬祭場・待合室等の管理運営を行う。				
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	説明								
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度	30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み
	成果指標	火葬件数	1,500	1,500	1,513	1,500	1,500		
	活動指標①	斎場使用件数	69	100	93	100	100		
	活動指標②	家族葬祭場使用件数	58	90	52	90	90		
	コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出（直接事業費）(a)			101,405	114,586	79,600	86,709	
		歳入(b)	受益者負担額			45,885	45,158	50,157	45,158
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）						
		(a) - (b) = 一般財源			55,520	69,428	29,443	41,551	
正職員		従事者数（単位：人）			0.65	0.65	0.90	0.80	
		人件費(c)			3,710	3,710	5,232	4,650	
トータルコスト(a) + (c)			105,115	118,296	84,832	91,359			
単位当たりコスト	計算式等 () / ()								
備考	平成28年度の活動指標①②の数値は精査の結果変更しました								

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	民間の葬祭場が増加しており、市営の葬祭場の使用件数は変動がある。斎場ができて32年経過しており、設備の老朽化が目立っているが、火葬件数については1500件前後で推移している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市内で唯一の火葬場であり貢献度は高い。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	火葬・受付・清掃業委託等の人的経費や、修繕・火葬炉燃料・電気代等維持管理にかかる経費であり、改善は見込めない。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		平成33年度に斎場改修設計業務委託を行い、老朽化している施設の大規模改修工事及びニーズに即した施設整備を実施する。また、斎場の共同利用にむけた調整を行い、仕組みづくりを検討していく。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	斎場施設の整備計画を立て、各施設の延命化を図る。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ ソフト（任意） ）		事業				
P L A N 計 画	事務事業名	墓園施設管理事業						
	担当部名	まちづくり部		担当課名	緑地景観課	課長名	山田 武司	
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	8	持続可能な環境をつくるまち				
		施策	3	斎場・墓園の維持管理				
	総合戦略の位置付け	基本目標						
		基本的方向						
	行革大綱の位置付け	重点項目						
		項目						
		改革名						
	予算事業名	市営墓園管理費						
事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成	年度		
対象	市営香久山墓園利用者		事業の内容説明	墓参に支障のないように通路・水路の浚渫・草刈等を行う。未建立墓地の管理状況を調査し、草刈等の未実施使用者に通知を行い維持管理の促進をする。また、墓園内の衛生害虫駆除、維持管理のための管理料の徴収、一般墳墓利用者の使用上の届出・諸手続き等を行う。平成24年度からは合葬式墓地の管理運営も行っている。				
事業の目的	市営香久山墓園に来られる方々に気持ちよく墓参していただく。							
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業					
		2	市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）					
	説明	墓園を経営できるのは、主に公共団体であるから。						
やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
	説明	既に一般墓地の利用者が約5,500名、合葬式墓地の利用者が約250名おり、その方々の墓地がなくなるとともに、新規の墓地需要に応えられなくなる。						
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等		28年度	29年度		30年度	31年度
				実績	計画	実績	見込み	見込み
	成果指標							
	活動指標①	管理料徴収件数		5,396	5,400	5,351	5,400	5,400
	活動指標②	合葬式墓地申し込み件数		95	64	104	90	90
	コストの推移	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出（直接事業費）(a)		24,322	15,075	15,425	19,209	
		歳入(b)	受益者負担額	36,497	34,342	37,776	36,409	
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）					
	(単位：千円)	(a) - (b) = 一般財源		-12,175	-19,267	-22,351	-17,200	
正職員	従事者数（単位：人）		1.00	1.00	1.00	0.75		
	人件費(c)		5,707	5,707	5,813	4,360		
トータルコスト(a) + (c)			30,029	20,782	21,238	23,569		
単位当たりコスト	計算式等							
		() / ()						
備考	活動指標②合葬式墓地申し込み件数について、精査の結果、平成28年度実績の数値を修正（93→95（件））							

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	使用者に墓地区画内の草刈をお願いしているにもかかわらず、隣の墓地所有者より草が生い茂っているとの苦情及び駐車場が少ないとの苦情の他は概ね成果は高い。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	事業が円滑に行われているため、貢献度は高い							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	墓地区画内の維持管理は墓地使用者の責務で行っており、共有部分については使用者から徴収した管理料で効率的に行っている。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。	各区画内の草刈清掃を墓地使用者へ周知徹底することで、墓参者が気持ちよくお参りできるようになる。また、墓地全体の美観もよくなり、一般墓地、合葬式墓地の新規利用者の増加へも繋がる。								
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	B	
4 廃止又は休止する			5 完了する							
修正行動	説明	老朽化した墓園設備の更新を墓地使用者から徴収している管理料で行っていく。								

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ ハード ）		事業						
P L A N 計 画	事務事業名	墓園造成事業								
	担当部名	まちづくり部		担当課名	緑地景観課	課長名	山田 武司			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	8	持続可能な環境をつくるまち						
		施策	3	斎場・墓園の維持管理						
	総合戦略の 位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の 位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	市営墓園管理費								
事業の開始年度	昭和	62	年度	事業の終了予定年度	平成		年度			
対象				事業の 内容説明 (全体計 画)	返還墓地の整備・新規墓地の建設					
事業の 目的	墓園建設事業地である地元の理解及び協力を得て、計画的に墓地造成・拡張工事の実施。合葬式墓地建設・返還墓地整備する。									
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	説明									
	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い		
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	新規築造墓地販売数								
	活動指標②	返還墓地販売数（基）			68	32	32	60	60	
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			39,879	55,054	23,540	73,066		
		歳入 (b)	受益者負担額			39,879		17,600	37,500	
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）				26,884			
		(a) - (b) = 一般財源				28,170	5,940	35,566		
正職員		従事者数（単位：人）			0.45	0.20	0.20	0.65		
		人件費 (c)			2,568	1,141	1,163	3,778		
トータルコスト (a) + (c)			42,447	56,195	24,703	76,844				
単位当 りコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	墓園事業を進める中で、当初から10年はほぼ毎年販売行ってきたが、最近は2年おきに返還墓地の再整備を行い再販売を行っている。平成29年度からは、整備済み区画の随時募集も行っている。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明				
			1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない	
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	返還墓地の整備及び販売を引き続き行い墓地需要に応じていくと共に、階段墓地の墓参路を改修し、高齢の方がお参りしやすいように改修を進める。				